

第六十四回大磯西行祭献詠俳句（選者の部）

ときのけや西行の日を今年また

本井 英先生

月位忌の歩幅大きく踏み出しぬ

今村 妙子先生

松籟に富士の輝き月位の忌

山田 真砂年先生

花影を一つむ松籟西行忌

松尾 隆信先生

まなごしを沖に定むる西行忌

西山 睦先生

第六十四回大磯西行祭献詠短歌（選者の部）

冬空にひきしまりたる枝ぶりの木蓮は固く荅を結ぶ

柳 宣宏先生

群れながら白鳥一羽コウと鳴き一羽遅れて音なく動く

今井 恵子先生

「ころなかの」枕言葉のごとくして花鳥風月なべて詠まるる

花山 多佳子先生